

平成30年度 国立大隅青少年自然の家 教育事業
平成30年度 国立青少年教育振興機構 海の体験活動推進プロジェクト
うみとともだち

- 1 趣 旨 未就学児（年長児）が海でできる遊びを体験し、その楽しさを味わうことにより、海好きな子供を育てると共に自然と共に生きようとする意識を高める。
- 2 期 日 平成30年7月24日（火）
- 3 対象者 松下保育園（鹿屋市）の年長児（5～6歳児）
- 4 参加者 32人（園児24人、引率者8人）
- 5 指導者 アウトドアショップキャメル 江口 智昭 氏
国立大隅青少年自然の家職員、ボランティア1人
- 6 場 所 高須海水浴場（鹿児島県鹿屋市）

7 主な活動

| 主な活動 |
|------------------------------|
| 9:30 はじめの会 |
| 9:35 安全の約束（ライフジャケットの着用等） |
| 9:45 砂浜へ移動・海遊び |
| 10:30 休憩 |
| 10:50 安全面の説明（レスキューチューブの使い方等） |
| 11:00 海遊び |
| 11:30 スイカ割り・集合写真撮影 |
| 12:15 片付け・着替え |

8 事業運営上の配慮

- 海の体験活動推進プロジェクトの取組である海の絵の評価などを共通理解した上で活動を実施した。
- 初年度であったため、海の活動経験がある保育園と連携し、講師に指導を依頼した。

9 参加者の感想

- スタッフ数が例年より多く、子供達に目が届いたため、十分な活動ができた。
- 活動の後半にレスキューチューブを使ったことで、浮かぶだけでなく、捕まったり、引っ張られることが加わり活動に変化ができ、安全面に余裕ができた。

10 成果

- 活動の初めは海を怖がっていた子ども、時間が経過するとともに楽しみながら深い場所に進むことができた。

